

<産科施設 保育現場で知るべき>

母乳育児と絆の互換

母子の絆形成/触覚と嗅覚の役割

脳科学における互換を介しての絆の生理と
原点としての母乳育児

(主な内容) 絆形成に欠かせないスキンシップ。それで湧き出るフェロモンは個体から放出される化学物質で、他個体はそれを嗅ぐことで、脳活動が変化し、行動やホルモン分泌の変化が起こります。また、母乳(育児)は、子の成長と親子の絆を強くし“授乳それ自体が乳首と赤ちゃんの唇のスキンシップです。最近、触覚の脳科学の研究成果から、肌のふれ合い スキンシップと嗅覚の影響が子育てに変化を及ぼす事が分かりました。ポイントは、触れる事、嗅覚、脳科学をしっかりと理解していただくことです。情報に左右され過ぎない専門家の知識としてエビデンスを学んでください。

2017年9月30日 (土)

<セミナー対象>

医療従事者
保育関係者
子育て支援関係者
専門家対象



<会場>

江戸東京博物館
会議室
「両国駅」徒歩3分

9:30 開場
10:00~12:30 篠原先生
13:30~16:00 橋本先生
16:00~16:30 質疑応答
16:30 終了

主催：母子支援 プチブレスト



母乳育児と絆の互換 母子の絆形成 触覚と嗅覚の役割

☆申込方法

※受付後、詳しいご案内を返信します。

☆HP申込フォーム

プチブレスト **検索**

<http://petitbreast.com/order/>

☆メール申込 info@petitbreast.com

①お名前 ②資格 ③年代 ④所属施設

⑤郵便番号 ⑥住所 ⑦連絡先(携帯)

⑧メールアドレス

*複数名でのお申し込みの場合は、全員の

①②③をお書きください。

定員：先着 100名

対象：医療従事者 保育関係者
子育て支援関係者 専門家

参加費： 1人 / 5500円
2名以上申込 5000円

*グループ参加は優待参加費です。

(会場)
江戸東京博物館
1F会議室



【企画・主催】
株式会社プチブレスト

母乳育児/子育て支援活動

www.petitbreast.com

お問合せ

090-8514-2556



(講師紹介)

橋本武夫 小児科医

社会福祉法人若楠児童発達支援センター長

1966年久留米大学医学部卒業、同大学小児科学教室入局。1971年国立岡山病院小児科国内留学。1972年聖マリア病院新生児科医長。1983年同病院副院長。1986年心身障害者施設社団法人若楠療育園理事。1994年聖マリア病院母子総合医療センター長。2004年同センター統括。2008年聖マリア学院大学教授、聖マリア医療福祉研究所所長。現在に至る

(先生の一言)

「鳳は群れず」恩師の言葉を胸に、自分の思う医療をひたすら追求。たとえ誰もやっていないことでも、患者さんの声を聞き、自分でしっかり考えどんなことでも決めたことはやってきました。やってみてダメなら、そこで戻せばいい。小児科学の根幹は育児学です。いま我が国の子どもにまつわる社会問題を考えると、新生児科医の果たす役割りの重要性をあらためて痛感しています。こんな時代だからこそ、母乳育児の原点と新生児の生理、愛着の絆の強さと愛着障がいについて今一度考えてみましょう。

篠原一之 医学博士

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授

長崎大学医学部卒業、東海大学大学院博士課程終了後横浜市立大学、バージニア大学等を経て、現在、長崎大学大学院神経機能学教授。小児精神科・心療内科医師 現在に至る

(先生の一言)

少子高齢化時代の真っ只中、子ども一人ひとりが未来の日本の重要な役割を担うことになる大事な国の宝石です。子育て支援の箱はでき、子育ての情報に容易にアクセスできるようになりましたが、子育てに大事な愛を上手く育む方法が見つかりません。無防備に「年長者、先生の言うことは尊重すべき」という「当たり前(常識)」は崩れ去り、母性や父性という「本能」も感じる事ができない、そんな今、子育ては「暗闇の中の手探り」です。そこで、もう一度、「常識」や「本能」を見なおし、科学の力を使って確かめ、「知」や「物」として世に出し、子どもを巡る人が愛を育てられる土台を提供していきたいと思えます。

篠原先生のWebページ

<http://www.shinohara-kazuyuki.com/>